

日本工学院専門学校	開講年度	2020年度	科目名	プロダクトデザイン実習2C	
科目基礎情報					
開設学科	プロダクトデザイン科	コース名	全コース	開設期	後期
対象年次	1 年次	科目区分	必修	時間数	60時間
単位数	2単位	開講時間	火曜1時限～	授業形態	実習
教科書/教材	参考作品・参考資料等は、授業中に配布、掲示する。				
担当教員情報					
担当教員	濱西 邦和		実務経験の有無・職種	有・デザイナー	
学習目的					
この科目を受講する学生は、基礎的な3DCADソフトRhincerosを使い、2D図面、3Dモデリング等の基本操作を修得します。これから経験していく仕事の現場で、役に立つ3 D・C A Dの知識と技術を学び、正しい操作を身に着けるようになります。プロダクトデザインの「デジタルデータ」に関連する知識と技術を理解し、デザイン提案をする際に必要な能力を積極的に学び、実践することができるようになるのがねらいである。					
到達目標					
この科目では、ライノセラス上で2D図面作成、3Dデータの作成ができること。3Dのモデリング、レンダリング、加工機への出力、プレゼンテーションが作成できること。3DCADの基本操作の習得して、デザイン業界で活躍するために必要な技術や知識を向上させること、段階的に 3DCADの基本操作の習得 2D図面と3Dモデリング/レンダリングデータ作成、3Dプリンターとレーザー加工機での出力加工と一連の流れを理解できるようになることを目標にしている。					
教育方法等					
授業概要	この授業では、出題される課題のテーマを講師からの解説を受けます。3DCADソフトRhinceroswの基本操作から3Dのモデリング、レンダリングと段階的にプロダクトデザインの3 D・C A Dを修得する授業です。講師のデモンストレーションから学びを深め、学生の「プロダクトデザインの3 Dデザイン力」を育成していく。この授業に主体的に参加する学生が、自分の「プロダクトデザインのデジタル技術」を実践し、活用できるようになることを目指す。				
注意点	この授業では、学生に基礎的な2D図面、3Dモデリングから、プロダクトデザインに触れてもらう機会になります。授業中の私語や受講態度などには厳しく対応する。理由のない遅刻や欠席は認めない。授業に出席するだけでなく、社会への移行を前提とした受講マナーで授業に参加することを求める（詳しくは、最初の授業で説明）。現場で求められる3 D C A Dの実習になります。ただし、授業時数の4 分の3 以上出席しない者はこの科目合格することができない。				
評価方法	種別	割合	備 考		
	プレゼン	20%	制作物の発表方法、内容について評価する		
	課題完成度	40%	提出課題完成度を総合的に評価する		
	リサーチ	20%	制作準備と過程を評価する		
	平常点	20%	積極的な授業参加度、授業態度によって評価する		
授業計画（1 回～1 5 回）					
回	授業内容		各回の到達目標		
1 回	基礎モデリング		導入 3DCAD・Rhinceros概要説明、3D使用例説明		
2 回	基礎モデリング		Rhinceros基本操作説明 図面説明		
3 回	基礎モデリング		2D図面 モデリング 1 立体図 → 三面図 → モデリング		
4 回	基礎モデリング		2D図面 モデリング 1 立体図 → 三面図 → モデリング		
5 回	基礎モデリング		2D図面 モデリング 1 立体図 → 三面図 → モデリング		
6 回	基礎モデリング		2D図面 モデリング 1 立体図 → 三面図 → モデリング		
7 回	基礎モデリング		基礎3Dモデリング 1 (コーヒーカップ)		
8 回	基礎モデリング		基礎3Dモデリング 2 課題説明、レーザー加工説明、見本		
9 回	基礎モデリング		基礎3Dモデリング 2 (回転体デザイン)		
1 0 回	基礎モデリング		基礎3Dモデリング 2 (ロフト体デザイン)		
1 1 回	基礎モデリング		基礎3Dモデリング 2 (テーブルデザイン)		
1 2 回	家電製品 – 三面図		基礎3Dレンダリング		
1 3 回	基礎モデリング		基礎3Dレンダリング、		
1 4 回	基礎モデリング		基礎3Dレンダリング、作品ボード作成		
1 5 回	基礎モデリング		全体のまとめ		